



心のつながりすてきな笑顔②

6月1日は人権擁護委員の日

人間が人間らしく生きていくには、自分の人権はもちろん、ほかの人の人権も大切に守られていることが必要です。しかし、日常生活の中では、人権をめぐるさまざまな問題が起きています。そのため、市には、人権意識を高める啓発を行ったり、市民の皆さんの身近な相談を受けたりする相談員として、法務大臣から委嘱された15人の人権擁護委員がいます。

委員の活動として、人権擁護委員法の制定を記念した6月1日の人権擁護委員の日に、市民一人ひとりの人権意識を高めるため、街頭啓発を行なっています。また、小学生を対象にした人権の花(ハナミズキ)植樹運動や人権書道展、中学生を対象にした人権作文コンクールなどを通じて、次世代を担う児童・生徒の人権意識を高める活動も行なっています。

さらに、市民の皆さんの人権相談を受ける相談室を、毎月、サン・シープラザ(JR三原駅前)に開設しています。人権問題で悩んでいたら、気軽に相談室を利用してください。

(人権啓発広報編集委員会)



▲街頭で啓発活動をする人権擁護委員と、人権イメージキャラクターの人KENあゆみちゃん

人権相談

とき 1日(水) 13時~16時、毎週火・

金曜日10時~16時

ところ サン・シープラザ

問い合わせ先 人権推進課(☎08448

⑥7 6044 FAX 0848 ⑥7 6199)

大切に 相手の心と 自分の心

人権標語 (高校2年生の作品)

きらっと☆宇根山天文台

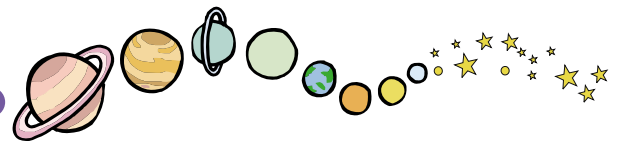
~土星とその衛星~

土星は、太陽系の内側から6番目の惑星で、木星に次いで大きな惑星です。木星と同じくガス惑星で、太陽系の中で一番密度の低い星です。密度は水の70%ほどで、水を張った大きなたらいに入れることができたなら、土星はプカプカと浮くでしょう。

土星には、全体で数千本の環があります。環の幅が約11万4千Kmに対して、厚みは非常に薄く約300mです。

土星の衛星、タイタンには濃い大気があり、気温はマイナス180度で、主成分はメタンです。北極地方には、琵琶湖の150倍ほどのメタンや炭化水素の海があります。ここには、地球とは違った形の生命があるかも知れないと考えられています。

この美しい環を持つ土星を、宇根山天文台で眺めてみませんか。見た人は必ず感動の声を上げることでしょう。



七夕観望会&ハーモニカコンサート

とき 7月7日(木) 18時~22時

内容 織り姫(ベガ)・ひこ星(アルタイル)の観望と、ハーモニカコンサート(19時~19時30分)

出演 吉田常設サロンなごみ

入館料 大人310円、中学生・高校生210円、小学生100円、小学生未満 無料

※希望者は直接会場へ。



問い合わせ先 青少年女性課(☎0848⑥49234)、宇根山天文台(☎0847③27145)